

# 自他共栄

目指す生徒の姿

「主体的に考え 判断し  
思いやりと勇気をもって行動する！」

住所：行方市南327の3

電話：0299-80-8070/FAX：0299-77-0840

## ◆ 新入生説明会に思う ◆

### ～不安と緊張こそ成長のきっかけに～

1月25日（水）に新入生説明会を行った。その時に、次のことを思った。

幼稚園や保育所から小学校に行けば「小1プロブレム」、小学校から中学校に入れば「中1ギャップ」、中学校から高校に進学すれば「高1クライシス」。「大1～」、「就職1年目～」という言葉が出てこないことを祈るばかりである。

日本の教育制度には節々に痛みがある。「日本の教育は関節炎にかかっている」という人もいるくらいである。そして、その炎症を鎮めるためにさまざまな工夫がなされている。それらが、うまくいくことで、児童生徒、教師、保護者が幸福になる。過日実施した、新入生説明会もその一つといえる。

しかし、物事には限度がある。学校間の接続を滑らかにしすぎてしまうことは、成長のチャンスを逸することにもなりかねないからである。「小学校＝（イコール）中学校」では中学校の存在意義がなくなってしまう。進級や進学には不安や緊張を伴うのは当たり前である。ある程度の不安や緊張があればこそ、それをバネに人はグンと成長するのである。進級、進学をきっかけに生徒の成長を促していきたい。

これから先、就職、結婚、家族の変化、転職、病気、退職、社会の変化等、それまでとは異なる考え方や行動様式が求められる場面が出てくる。そんな時、適切に対応できる力を身に付けさせたいと思う。

【プロブレム (problem)：問題，難問】

【ギャップ (gap)：すき間，欠落，隔たり，不一致】

【クライシス (crisis)：重大局面，難局，重大な分かれ目】

## ◆ 持久走大会，開催中です ◆

先週から、学年毎に持久走大会が行われている。男子が3970m、女子が2270mを走る。速い生徒は男子が14分、女子が8分程度でゴールする。苦手な生徒は、その2倍近くかけてゴールする。苦手でも、時間がかかっても、勇気をもって挑戦する姿をみることができる。これは、麻生中学校の強みである。また、各学年とも見学者がほとんどいない。素晴らしことである。

持久走大会をとおして、得るものは体力だけでない。困難から逃げないこと、やり抜くこと、努力すること、達成感・充実感、自信、思いやりなどたくさんのことを得たと思う。今後に生かして欲しい。

2月に入りました。3学期は、あっという間です。一日一日を大切に。

「一日生きることは、一歩進むことでありたい。」